

このページでは、医学部として新型コロナウイルス感染症対策の実施状況をまとめています。随時、情報は更新していきますので、ぜひ、参考にさせていただけたらと存じます。

東海大学 医学部

<授業面>

●個別体験学習(医学科1年次)

<感染対策ガイダンス>



<実習風景>



●TBL※をオンラインで実施(医学科3年次)

東海大学の各学部学科ではアクティブラーニング(能動的授業)を積極的に取り入れることで、教育の質向上を図っています。医学部医学科では TBL(Team-based learning:小グループで課題解決に取り組む学習)を 2016 年度に導入。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて対面授業が困難になる中、医学教育学領域の教員らが中心となって、オンラインによる TBL をスタートさせてます。

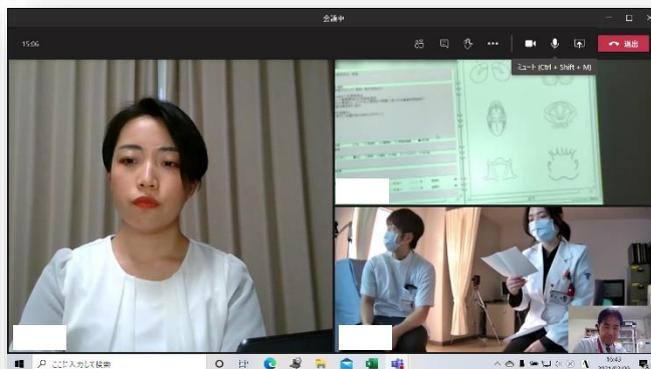


●ハイブリット型臨床実習(医学科 4~5年次)

<対面型臨床実習>

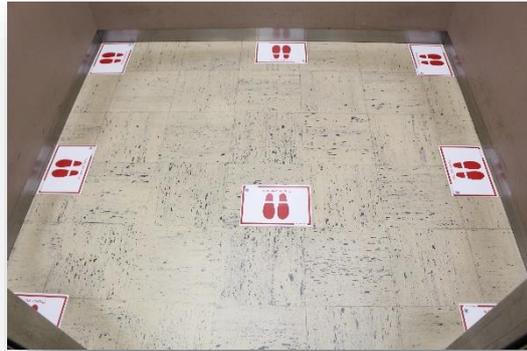


<オンライン型臨床実習>



<施設面>

- 一部のエレベータ内にソーシャルディスタンス足跡マークを設置



- 建物入口に非接触型検温装置を設置



- アルコール消毒の設置

<建物入口>



<教室入口>



<学生窓口>



- 飛沫防止のアクリル板を設置

<教室>



<学生窓口>

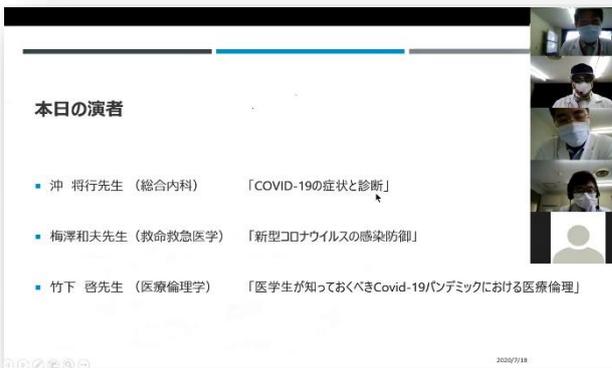


<行事面>

●オンラインシンポジウムを実施(医学科 1~3 年次)

医学部医学科が1年次生から3年次生を対象としたシンポジウム「新型コロナウイルスとどう向き合うか?」を、WEB ビデオ会議システム「Zoom」を用いて実施。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する最新の医科学的な情報を提供するとともに、医師を目指す学生としてプロフェッショナリズムの意識を高めてもらうため、実施。本学科の教員3人が講演し、約 200 名が参加。



●受験票交付(医学科6年生)

第115回医師国家試験(6日、7日実施)に向け、人数制限を設けオンラインでのライブ配信を活用した受験票交付と壮行会を開催。

<教育計画長よりメッセージ>



<医学部長よりメッセージ>



<医学科長よりメッセージ>

